

一般質問(2)



義務教育就学児医療費助成は、来年度以降も事業継続を図れ!

佐々木 順一(公明)

市財政の現状と見通し

補正予算で市税が約11億円の減収となった。今後、厳しい財政状況が想定されるが、その対応を伺う。

市税の動向等に高い緊張感を持って注視し、予算編成は事業計画の見直しが必要になると考えている。

義務教育就学児医療費助成市議会公明党として、市長に要望書を提出したが、所得制限がない中学3年生までの医療費助成を来年度以降も子育て支援施策の継続事業とし、また、通院200円の自己負担も撤廃せよ。

市長 持続可能な医療費助成を構築する必要がある。

西武線高架化の促進と調布

保谷線の早期整備を図れ!

①都の「踏切対策基本方針」の「鉄道立体化の検討対象区間」では、西武池袋線の保谷第7号踏切から東久留米第3号踏切までの区間が検討対象となっている。10年・20年先を見据えて将来的なまちづくりの観点から事業化に向けた市の主体的な取り組みを図れ

市長 ①連続立体交差事業は、市として道路整備計画の具体化と事業効果を都に示すことが不可欠であり、まちづくりについて整理・検討を進めたい。②早期整備に努めたい。

子育て支援 難病の子ども達への支援拡大も

小峰 和美(無所属)

不妊治療にも支援を。

体外受精及び顕微授精が高額だ。都内9区と三多摩の2市が独自で補助している。先進自治体を見ながら研究する。

ピッコロ広場を拡充して応援プログラムを。

乳幼児と保護者が学ぶ子育て広場のニーズや重要性は認識している。利用しやすい環境や内容の充実に向け、事業を展開する。

女性が平等に扱われず、働きにくい社会だからこそ少子化が進行するので

安全・安心・快適・便利な環境と生活を保障せよ

遠藤 源太郎(自民)

新型インフルエンザの感染拡大防止には市民の認識に差が生じないことが大切だ。広報を徹底せよ。

市報と一緒に注意喚起パンフレットを配布する。

保育所待機児解消には、子ども手当もよいが、その一部で保育所を増設し、認定こども園幼稚園型を導入すれば一気に解決できる。

待機児童の解消は最重要課題ととらえている。

IHI跡地開発については、周辺道路整備、横断歩道の確保等交通規制の変更、商業施設と市民との約束不履行のチェック、はなバスルートの乗り入れなど、行政の力を発揮して市民要望に的確にこたえよ。

市民要望は検討する。公園の維持管理を十分せよ。緑を守ることは市民意識によるところが大だ。

草刈りと剪定の時期や回数を検討する。グリーンデモクラシーを合言葉に市民の意識啓発に努めたい。

敬老行事補助金事業

ひばりヶ丘駅北口のまちづくりと新型インフルエンザへの備え

田中 のりあき(自民)

新型インフルエンザの影響により、公立中学校の修学旅行が延期されたことと保護者の負担増にならないよう要望したが、現状はいかがか。

旅行代理店との調整や市の補助等により、負担増は生じていない。

新型インフルエンザの感染拡大を防ぐためには、学級・学年閉鎖が有効である。

就労と子育ての両立は、両立できる環境をどう整えていくかが命題だ。

病者と闘う子どもたちの難病者支援について。

東京都レベルでも大変療育機能が不足している。市としてやらねばならないことを検討する。

薬物乱用について。

麻薬等の薬物乱用問題は、人類が抱える深刻な

は縮小することなく拡充を。

昨年度187団体も参加して有効だと認識している。

学校選択制は定着して効果を発揮していると思

うが、現状と今後の課題は。今後とも魅力のある学校づくりのため検証、検討する。



東大農場整備とまちづくり
整備計画に基づく田無警察署など公共施設の移設を含めた地区計画策定や用途地域の見直しについて経過や検証を含めて伺う。

キャンパス整備・処分予定地への公共施設の誘致など、東大及び都と協議の上各計画の策定を目指す。

地域の安全からも田無警察署の移転を要望する。

東伏見の早稲田大学が発祥の地だ。地域活動や各方面の理解と協力で本市での国体開催が正式決定した。また、学校教育現場への導入も一定の方向が見えた。どう取り組むのか。

相談内容については、用地買収、都市計画道路周辺のまちづくりなど、幅広い相談を受けている。

周辺のまちづくりについても、地区計画などの規制誘導策を行い、まちづくり交付金などを活用して、駅北口全体が活力あるまちになるよう進めていきたい。

太陽光発電システム

今後検討課題とする。

千駄山広場の維持管理はどのように行っているのか。また、都市計画公園ではあるが全面オープンまでは時間がかかる。その間引き続き市が維持管理できないか東京都と協議せよ。

シルバー人材センターに清掃、造園業者に剪定をお願いし、市民団体やボイスカウトの方にも協力いただいている。都は、一括管理するとしている。

全面的にオープンするまでは市が維持管理し、特徴ある公園として市民に供する必要があると考える。

ごみ収集について、収集作業中、市民が待っているのに作業後、何のあい

さつもなく移動するのを時々見かける。また、ピンク色の有料袋は少しでも汚れていると置いていつてしまふ。このままでは不燃物の袋を使うようになるが、市ではどう対応するのか。

市民に理解と協力を得られるよう指導しているが、引き続き徹底していく。また、取り残しの時は、連絡シールを張り、理解を得られるよう努めている。

柳泉園組合のごみ処理経費、また負担金等はどうなるのか。

維持管理に多額の費用を要し、ごみ減量が負担減とならない面がある。他市とも協議し、対応したい。

千駄山広場を引き続き市で管理を
ごみの経費は全体的視野で削減を
鈴木 久幸(自民)



プラスチック廃棄物の収集